

解	新聞・テレビ・ラジオ
禁	平成28年 7月21日

入札監視委員会の審議概要について

記 者 発 表 資 料

沖縄総合事務局開発建設部 入札監視委員会(平成28年度第1回)が、平成28年6月15日(水)に沖縄総合事務局において開催されました。
審議内容は別紙のとおりです。

平成28年 7月21日

沖縄総合事務局

記 者 発 表

沖縄総合事務局記者クラブ

【問い合わせ先】

沖縄総合事務局開発建設部管理課 契約管理官 金田 好章

契約管理係長 下地 公介

代表 098-866-0031 (内線 2356・2541)

直通 098-866-1981

沖縄総合事務局開発建設部 入札監視委員会(平成28年度第1回) 審議概要

開催日及び場所	平成28年6月15日(水) 沖縄総合事務局 4階 事業審査室	
委員	委員長 井上 章二 (琉球大学農学部教授) 委員 鈴木 啓子 (税理士) 委員 仲地 健 (沖縄国際大学産業情報学部教授) 委員 原 久夫 (琉球大学工学部准教授) 委員 村上 尚子 (弁護士)	
	(委員は50音順:敬称略)	
審議対象期間	平成28年1月1日～平成29年3月31日	
抽出案件件数	総件数 5 件	(備考)
工事	一般競争 (政府調達)	1 件
	一般競争	2 件
	公募型指名競争	0 件
	工事希望型競争	0 件
	通常指名競争	0 件
	随意契約	0 件
	建設コンサルタント業務等	1 件
	役務の提供等及び物品の製造等	1 件
	意見・質問	回答
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	なし	

(別紙)

意見・質問	回答
定例報告	
1 入札・契約に関する状況等	
2 対象期間における発注案件について	
○ 新聞への広報掲載を随意契約にしているのはなぜか。	・県内に広く周知するためには主要2紙に掲載しなければならず、競争に馴染まない事案と考えているが、契約相手方の発行部数等の要件について整理していきたい。
3 指名停止措置の運用状況	
4 再度入札における工事別一位不動状況	
5 一者入札推移	
抽出事案	
1 工事	
◆ 平成27年度牧港高架橋上部工(P4～P6)工事	
○ 技術提案加算点の高い2者が施工体制確認資料提出を辞退しているがどうしてか。	・施工体制確認資料は低入札の者に対して行うもので、今回はその資料提出を辞退したということである。
◆ 平成27年度首里城北城郭(東)地区石積その他整備工事	
○ 予定価格を超えた者と低入札の者がいるが、両方いるのはなぜか。	・予定価格を超過した者の積算内容を見たところ、価格が上昇傾向にある石材の単価を高く見積もっていたようである。一方、低入札については落札意欲の高さによるものと思われる。
◆ 慶良間宿舎(27)新築工事	
○ 受注意思表明書の提出が2者というのは少なくないか。	・営繕工事は入札不調が多い状況にあり、その要因としては活発な民間工事による人手不足や施工現場が離島であること等が影響していると思われる。
2 建設コンサルタント業務等	
◆ 竹富南航路周辺サンゴ移設(第2次)	
○ 第2次ということだが、第1次とはどのように違うのか。	・サンゴの生息する場所、種類及び移設方法による違いである。
3 役務の提供等及び物品の製造等	
◆ 那覇港港湾業務艇定期整備(第2次)	
○ 参加資格対象者に対して参加表明者が少ないと思われる。	・漁船等の整備を主とする業者が多く、本案件のような船舶に対応できる業者は少ないのでないかと思われる。